

市民の生活を守るため 黒字財政は 活かさないかん!



1,609回超の抜群の発言力!
皆さんの声を議会に届けます!



4つの提案



日本共産党 市議会議員

松下真一



① 介護保険・国保の負担軽減を

市は国保料を据え置いてるから「実質値下げだ」と言っていますが、払いたくても払えないほど高い保険料は問題です。お金がなく、医療が受けられない自体も広がっています。国民健康保険も介護保険も、低所得者の為の減免措置を充実するなど、とくに高齢者の負担を軽減すべきです。



② 小学校卒業まで 子供の医療費を無料に

07年に市民の要望がみのり、3歳未満の初診料無料化が実現しました。さらに、多くの市町村で実施しているように、まずは、小学校入学前までの完全無料化を求めます。



大野城市の宝である子ども達の健康を守るため、子育て家庭への支援が充実されるよう、みなさんと力をあわせて頑張ります。

③ 30人以下学級の実施

昨年民主党は、少人数学級の推進を掲げ、30年ぶりに小中学校の学級編成基準の変更を発表し、少人数学級実現の期待がふくらみました。しかし教職員の人件費拡大を理由に計画を見送ったのです。大野城市は、国や県が行うべきで「市費を使つての実施の考えはない」と言っています。教育予算をもっと増やすべきです。



④ 住宅リフォーム助成制度で 仕事と雇用おこしを

みなさんは、家のリフォームや改修に一部の補助金が出たら嬉しくありませんか? しかも市内の建設業者の仕事が増え、資材屋さん・弁当屋さん・電気屋さん・居酒屋さんなど商店の売上が増えたらもっと嬉しくありませんか? 現在、170以上の自治体が実施しています! こんな凄い制度を早く大野城市でも実施できるように、頑張ります!



皆さんの要求、
なかなか実現しないと
いませんか?

請願や要望書を出しても、なかなか通らない…。そう思った事はありませんか? 大野城市は『補助金がついたらすすめよう』が基本に有り、そのため実現に時間がかかるのです。十分な財力を市民のために使うのか、ためこむのか。あなたはどちらを選びますか?